



# すこやか

第40号

2012/10/30

編集:市立伊丹病院患者サービス向上委員会

発行:市立伊丹病院 TEL:072-777-3773

<http://www.hosp.itami.hyogo.jp/>

## 関節リウマチについて

関節リウマチは、全身あちこちの関節が腫れて痛くなる病気です。その特徴として、①手指を中心に全身の関節で生じる事（多発性）、②左半身にも右半身にも起こる事（左右対称性）、数週～年単位で持続する事（持続性）があげられます。



アレルギー疾患リウマチ科 部長

寺田 信

リウマチの原因は、未だに解明されていませんが、体内の自己免疫反応によって引き起こされる全身性の病気である事がわかっています。全身的な体質に由来するリウマチの治療は、全身に作用する飲み薬や注射薬によって行います。現代医学においてさえ長らく、効果的なリウマチの治療法がありませんでした。ところが、最近になって新しいリウマチ薬が次々に開発され、目覚ましい治療効果が得られる様になりました。特に、メトトレキサートと言う飲み薬の普及と、画期的な注射薬である生物学的製剤の登場によって、完全にリウマチの症状と進行を押さえ込む事も可能となったのです。当院でもこれらの薬剤を用いた治療を積極的に行い、良好な成績を得ています。ただし、効果が強力な分、副作用にも十分な注意が必要です。適応を充分見極めた処方と、細心の副作用対策を行うのも我々専門医の特に大切な役割です。

また、リウマチは、早期に治療を開始するほど治療効果が良い事がわかっています。よって、早期診断が重要です。当院では、詳細な診察と血液検査に加え、MRI画像検査等によって早期の関節病変の評価を行い、早期診断に努めています。

あちこちの関節が腫れて痛んだり、こわばる様な症状をお持ちの方は、かかりつけ医とご相談の上、当アレルギー疾患リウマチ科に御受診下さい。

## がんリハビリテーションははじめました

リハビリテーション室が開設されて 48 年、ほぼ半世紀が経過しました。当時から現在まで変わらないのは、地域の中核病院のリハビリテーション部門として、一人の療法士として「何ができるか」を常に念頭に置おいて、時代の変化や要請に応じて、治療技術の向上や診療システムの改革を行ってきたことです。1 名からスタートしたスタッフも、今では 9 名を数えます。(理学療法士 7 名、受付・診療補助各 1 名)

主な対象疾患は、急性期の運動器疾患や呼吸器疾患ですが、チーム医療の一員としても参画しています。糖尿病、特定保健指導、呼吸器疾患の医療チームへの参加に加え、2010 年 9 月から「がんリハビリテーション」の基準を取得し、疼痛、苦痛の緩和や周術期のリハビリテーションを展開しています。また、老年内科を中心として立ち上がる「転倒・転落防止」のチームにも本年 9 月より参加します。

対外的には、市民や専門職に対しての講習や講義を行い、学術大会の座長や査読委員を務め、3 名が所属協会の県役員を任命されています。また多くの療法士養成校の実習生を受け入れ後進の指導に当たっています。本年度は大学を 5 校、専門学校を 5 校、受け入れる予定です。

今後も時代や地域の要請に応じ、リハビリテーション機能の拡充、および改変を行っていきます。そして、地味で辛いリハビリテーションを患者様同士が笑いながら励ましあって機能回復を図ることのできるように、楽しく明るい雰囲気づくりをスタッフ一同目指していきたいと思います。



リハビリテーション室 スタッフ一同

ボランティアさんこんにちは

## 病院ボランティア「花とみどり友の会」の紹介

代表：江木 清明

病院の花と緑の充実をするために、現在活動している花壇ボランティアグループが集まり、「花とみどり 友の会」を昨年10月に結成しました。活動にあたっては、病院の側面的協力と、県民まちなみ緑化事業からの支援を受けて今年3月、病院西側を中心に50本の高木と909本の低木を植栽しました。正面玄関左には「ハイビャクシン」「銀梅花」、ポスト横は「常磐満作」、駐車場からの通路には「車輪梅」を、また、バス停横の「さつき」が枯れて抜けたところに追植栽をしました。今年度は、病院東側の植栽を計画しています。

病院に来られる皆さまの「心が和む憩いの場所」になるように、これからも活動を続けていきたいと思っています。

ロータリー真ん中には、全国から集めた石を提供していただき、病院ロゴマークの形をかたどった花壇を作りました。四季折々の花のお世話をしています。



7月29日の作業風景



9月11日の作業風景





## 新医局棟の運用開始



新医局棟(外観南東面)

病院機能拡充を図るため、平成24年7月21日より新医局棟の運用を開始することになりました。1階は一般駐車場、2階に120名の医師が入ることのできる医局、3階に職員が利用する講堂、会議室、図書館を併設しております。これにより、医師の確保など更なる体制の強化を図り、地域中核病院として、地域医療の安定と充実した医療の提供に努めてまいります。工事期間中、当院を利用された皆様にはご不便をおかけいたしました。

## すこやか外来教室・市立伊丹病院 市民公開講座からのお知らせ

### 肥満と糖尿病予防と療養 すこやか外来教室のお知らせ

#### 「第7回 オータムフェア」

日時 平成24年11月10日(土)  
13時～15時30分(受付12時30分より)  
場所 市立伊丹病院 食堂(地下1階)  
内容 「そうだったのか! 学べる糖尿病」  
～最近の話題を含めて～  
「糖尿病と目のはなし」  
「糖尿病の運動療法」  
「災害時にどうする?」  
「身体の調子を見ましょう(血圧測定)」  
※希望者のみ

### 市立伊丹病院 市民公開講座

#### 第11回 眼科・皮膚科・歯科口腔外科 健康教室

日時 平成24年11月17日(土)  
13時～15時30分(受付12時30分より)  
場所 市立総合教育センター 2階(市役所の隣)  
内容 「目のサプリメントのはなし」  
「ロービジョンケアのはなし」  
「皮膚がんのはなし」  
「かかりつけ「歯科医院」をつくろう! 2」  
～口腔外科疾患の早期発見、  
早期治療のために～  
「口腔ケアで肺炎を予防しよう!」  
「歯科の金属アレルギーについて」  
「透析室における臨床工学技士の役割」

## 医師 人事異動のお知らせ

### 採用

氏名	フリガナ	診療科	採用日
中川 雄介	ナカガワ ユウスケ	老年内科 科部長	平成24年 7月1日
仲田 庄志	ナカタ ショウジ	呼吸器外科 医長	平成24年 8月1日
高橋 佳世	タカハシ カヨ	産婦人科 専攻医	平成24年 8月1日
澤見 浩和	サワミ ヒロカズ	外科 医員	平成24年10月1日

### 退職

氏名	フリガナ	診療科	退職日
松尾 安希子	マツオ アキコ	老年内科 医長	平成24年 8月31日
日浦 祐一郎	ヒウラ ユウイチロウ	外科 医師	平成24年 9月30日

～保険医療機関では毎月、患者様に保険証の提示をお願いしております。月初めには初診受付で保険証の提示、確認にご協力くださいますようお願いいたします。～